

上毛の偉人

復刊版

上
毛
の
偉
人

群馬地域文化振興会

上毛の偉人

新田義貞公筆蹟

新田源義貞
 貞和二年四月三日令
 立正富島菩提故寺
 新補法本
 教がなるのまゝに
 神に託す
 此の如く
 承安三年
 今も
 新田義貞公筆蹟
 梅原其前
 神も
 三つ七つ
 正徳三年

高山彦九郎先生筆蹟

高山彦九郎先生筆蹟

新田義貞公



高山彦九郎先生

關孝和先生



新島襄先生



鹽原太助翁



は し が き

わが群馬縣は昔から多くの偉人が出ましたが、其の中でこの五人の偉人は最も優れた崇敬すべき方でありまして、かゝる偉人を持つ群馬縣人は大なる誇りを感じる次第であります。それですから縣教育會で申合せをして縣下の各小學校は次に掲げた様な記念日を設けて當日はその方々のお話することにしてあるのであります。

わが桐生市小學校では此冊子を作つて意義深い明治節に皆さんにお願することになりましたのでありますから之をよく讀んで偉人の徳を慕ひ其の功績を偲んで、行ひのお手本としていただきたいと思いますと思ふのであります。

昭和七年十一月三日

識す

目次

新田義貞公……………一頁

高山彦九郎先生……………一八頁

關孝和先生……………四二頁

新島襄先生……………五〇頁

鹽原太助翁……………八四頁

記き

念ねん

日び

一月二十三日

新にひ島じま襄じやう先せん生せい逝せい去きよのの日ひ

二月三日

鹽しほ原はら太た助すけ翁おう誕たん生じやうのの日ひ

三月十五日

高たか山やま彦ひこ九く郎らう先せん生せい出しゆつ郷きやうのの日ひ

五月八日

新につ田た義よし貞さだ公こう義ぎ舉きよのの日ひ

十月二十四日

關せき孝かう和わ先せん生せい逝せい去きよのの日ひ

新田義貞公

一、生立

新田義貞は今から凡そ六百三十年程前上州新田郡に生れました。祖先は八幡太郎義家で、新田と言はれたのは其孫の義重からであります。お父さんはそれから七代目で名は朝氏といつて、大變元氣のよいお方でありました。

義貞は小さい時の名前を小太郎といひ、勇ましいさつぱりとした子供でした。義重の時から代々今の太田町の金山城に居りましたが、義貞はその外別所の館、反町城などに居られました。

新田義貞鎌倉攻之圖

